

## 参加記録

NO.	3	性別	男	年齢	15
疾患名	知的障害・自閉症・全盲				
詳細	視覚障害・言語障害				
排泄	全介助	移動	全介助	体温調節	可能
食事	一部介助	水・海	好き	船	着脱 一部介助
参加前	ライフジャケットは着せられて着る。レクチャーは座らないが話は聞いていた。テントで待っている間はおもちゃで遊んでいた。生簀に来る前は笑顔だった。				
参加後	イルカに触った後は無表情。 しかし、イベントに参加したことで海と人に慣れる事ができた。 (お母さん)				
喜んだ行動	合図出し	喜んだ行動2	イルカが鳴いたとき。		
苦手な行動	餌あげ	苦手な行動2			

## 対応法

触れ合い	イルカを気にはするが、怖がっていた。給餌台には時間がかかるが降りる。餌は触るがイルカにあげることは出来ない。触るときはお母さんと一緒にさわる。コーラスがお気に入り。
スイム	スイムなし
生簀への移動	イカダとイケスは怖がるが、家族と一緒にわたる。全盲のため、手を繋いで誘導しながら渡る。
交流会	無表情だったが、特に嫌がる様子もなく、寝転がったりしてくつろいでいた。その場の雰囲気を楽しんでいる様子だった。
待ち時間	好きなおもちゃと一緒に遊んでいた。 待っていることに嫌がったりはしなかった。
ご飯	何処に何があるのかを教えてあげながら、少し手伝いながら一緒に食べる。



## 参加記録

NO.	18	性別	女	年齢	15		
疾患名	視力障害						
詳細	全盲						
排泄	自立	移動	自立	体温調節	不可能		
食事	自立	水・海	好き	船	好き	着脱	一部介助
参加前	生簀に行く前は無表情。						
参加後	イルカと触れ合った後は、良く話をするようになった。						
喜んだ行動	スイム	喜んだ行動2	特になし				
苦手な行動	その他	苦手な行動2	特になし				

## 対応法

触れ合い	イルカのジャンプの音に反応して笑顔になっていた。 タッチのときはお父さんと一緒に触る。
スイム	スイムは水中の感覚が楽しかったようで、自分からバタ足で泳いでいた。一度機嫌を損ねると後を引きやすいので気をつけた。
生簀への移動	見えないので、足元の様子を伝えると上手に渡ることができた。特に怖がる様子はなかったが、手を繋いで一緒に渡った。移動時の声かけを重視。
交流会	笑っているときと無表情のときがあった。特に何もせず見守る対応。
待ち時間	話をしたり、一緒に遊んで待っていた。
ご飯	少し手伝いながら一緒に食べた。



## 参加記録

NO.	19	性別	女	年齢	16		
疾患名	ヘルペス脳炎による後遺症・視力聴力障害						
詳細	全盲ろう・てんかん						
排泄	半介助	移動	一部介助	体温調節	可能		
食事	一部介助	水・海	好き	船	好き	着脱	半介助
参加前	テントでは寝て待っていた。ライフジャケットは着せられる。イカダとイクスは手を繋いで、声をかけながら渡る。 イクスに行く前は無表情。						
参加後	2日間同じボランティアさんだったので、親がいなくても安心して過ごしていた。 不安やストレスが少し緩和された様子。						
喜んだ行動	スイム	喜んだ行動2	特になし				
苦手な行動	その他	苦手な行動2	特になし				

## 対応法

触れ合い	お母さんに手を取られ一緒に触る。 触った後は笑顔。餌あげも抵抗する様子はない。
スイム	イルカのはあまり気にせず、浮いているのを楽しんでいた。
生簀への移動	手を繋いで一緒に渡った。ゆれることに対する恐怖心はなさそうだった。 移動時の声かけを重視した。
交流会	笑って楽しんでいたため、見守る対応をしていた。
待ち時間	一緒に遊んで待っていた。
ご飯	声をかけたり、手伝ったりしながら一緒に食べた。



## 参加記録

NO.	22	性別	男	年齢	7		
疾患名	CHARGE症候群						
詳細	盲ろう・摂食障害						
排泄	一部介助	移動	一部介助	体温調節	可能		
食事	一部介助	水・海	大好き	船	好き	着脱	一部介助
参加前	いつも以上に気持ちがワクワクしている様子。テントでは筆談でおしゃべりしていた。						
参加後	日頃から機嫌が良く、朗らかな性格が一層その傾向が増し、笑いが止まらない様子でした。						
喜んだ行動	触れ合い	喜んだ行動2	スイム				
苦手な行動	餌あげ	苦手な行動2	特になし				

## 対応法

触れ合い	餌あげは恐いようで、魚はもてるが、イルカの口の中に入れる事ができず、海に投げてしまう。給餌台に降りるときは少し恐がる。
スイム	スタッフが手を引いて一緒に入ろうとすると、「一人で大丈夫」と手を離してしまう。一人でイルカに近づいて泳いでいた。その為、近くを泳いで見守る対応をした。
生簀への移動	問題なく、本人が自分でイカダを引っ張って移動した。 自分から進んで移動するので、落ちないようにだけ気をつけてみている。
交流会	隣に座って、一緒に楽しんだ。嬉しくなると一生懸命手話で話しかけてきてくれた。
待ち時間	テントでは筆談でおしゃべりしていた。
ご飯	食べれるものが限られている。 両親が手伝っていたので、見守るのみ。



## 参加記録

NO.	30	性別	女	年齢	22		
疾患名	未熟児網膜症						
詳細	視覚障害・聴覚障害 てんかん						
排泄	半介助	移動	半介助	体温調節	可能		
食事	半介助	水・海	好き	船	好き	着脱	全介助
参加前	ボランティアと一緒に待っていた。						
参加後	特に変わった変化は見られない。						
喜んだ行動	スイム	喜んだ行動2	特になし				
苦手な行動	その他	苦手な行動2	特になし				

## 対応法

触れ合い	給餌台へは時間はかかるが一人で降りることができる。ボランティアの方に手を添ってもらいながら触ることができた。
スイム	水の冷たさに慣れるまで少し時間がかかる。その後表情明るく笑顔が出てくる。一人でスイムを楽しんでいた。イルカには触れるも不思議そうな顔をしていた。イルカには触れるも不思議そうな顔をしていた。
生簀への移動	見えないため、声かけと誘導をしながら渡った。恐怖心はなさそうだった。
交流会	参加せず。
待ち時間	特に何をするわけでもなく、一緒に待っていた。
ご飯	声かけやお手伝いをしながら一緒に食べた。



## 参加記録

NO.	34	性別	女	年齢	23		
疾患名	未熟児網膜症による視覚障害 全盲(義眼装着)						
詳細	視覚障害・てんかん						
排泄	一部介助	移動	一部介助	体温調節	可能		
食事	一部介助	水・海	好き	船	好き	着脱	一部介助
参加前	ボランティアと一緒に過ごしていた。						
参加後	特に変化見られない。						
喜んだ行動	スイム	喜んだ行動2	特になし				
苦手な行動	その他	苦手な行動2	特になし				

## 対応法

触れ合い	視覚障害なのでイルカを見て喜ぶことはないがイルカの鳴き声やイルカに触ったときに表情が明るくなる。 水中に入りたくなることあり。
スイム	1日目より水温の冷たさに表情が固まっている。水中へは自らははいりスイムをおこなう。イルカに触れて「イルカ、イルカきた」と喜んでいた。
生簀への移動	移動は右手でボランティアの腕をつかんで移動。階段や給餌台等は声かけをすることで座ったりできる。
交流会	参加せず。
待ち時間	一緒に遊んで待っていた。
ご飯	少し手伝って一緒に食べる。



## 参加記録

NO.	36	性別	女	年齢	15		
疾患名	ミトコンドリア症・視力障害・小児糖尿病両上肢機能障害・体幹機能障害						
詳細	視覚障害・聴覚障害・言語障害・肢体不自由						
排泄	自立	移動	一部介助	体温調節	可能		
食事	一部介助	水・海	好き	船	好き	着脱	一部介助
参加前	座っておとなしく待っていた。						
参加後	その後の変化については特に変わった様子は見られず。						
喜んだ行動	触れ合い	喜んだ行動2	スイム				
苦手な行動	その他	苦手な行動2	特になし				

## 対応法

触れ合い	給餌台へはスタッフと一緒に降りた。恐がることなくスムーズに餌あげも行うことができた。ほとんど動けないので、つきっきりで触らせてあげたり餌あげを行った。
スイム	ボランティアに抱えられながら泳ぐ。イルカが来た時に手を出して触らせるように促す。スイムは寒くなったので早めにあげた。
生簀への移動	怖がる様子はなく、抱えて渡る。
交流会	楽しそうに笑って参加していた。特に問題なし。
待ち時間	一緒に遊んでいたときと、寝ていたときがある。
ご飯	ご両親が対応した。



## 参加記録

NO.	37	性別	男	年齢	11		
疾患名	精神運動発達遅滞・水腎症・外反足・睡眠障害						
詳細	肢体不自由						
排泄	全介助	移動	全介助	体温調節	可能		
食事	全介助	水・海	好き	船	大好き	着脱	全介助
参加前	待てないので外に行ってプールで遊んでいた。						
参加後	言葉を発する事が多くなった。						
喜んだ行動	その他	喜んだ行動2	イルカの鼻から出る海水				
苦手な行動	その他	苦手な行動2	特になし				

## 対応法

触れ合い	自ら積極的にイルカに触ったり餌をあげたりしていた。
スイム	自らイルカに近づき楽しそうにしていた。 表情豊かであった。
生簀への移動	手を繋いで、または支えながら移動。恐怖心は全く感じられず、自ら進んで移動した。
交流会	すごく楽しそうにしていた。いろんな人におんぶをしてもらって、ゲラゲラ笑っていた。ずっとご機嫌だった。
待ち時間	早くいきたそうにしていた。一緒に遊んで待っていた。
ご飯	お母さんが対応した。



## 参加記録

NO.	42	性別	男	年齢	5		
疾患名	未熟児網膜症						
詳細	盲ろう・てんかん・体幹機能障害						
排泄	全介助	移動	全介助	体温調節	不可能		
食事	全介助	水・海	普通	船	普通	着脱	全介助
参加前	昼夜逆転しており寝ていた。						
参加後	前回の参加に比べると、とてもイルカ・場所・水に慣れた様子。						
喜んだ行動	触れ合い	喜んだ行動2	特になし				
苦手な行動	その他	苦手な行動2	特になし				

## 対応法

触れ合い	イルカとの触れ合いで自分から一生懸命に手や足を出して喜んでいました。足で触ることのほうが多かったため、足で触れるようにイルカを台の上に乗せて触れるようにしました。
スイム	昼夜逆転中のため、イルカと泳ぐときはずっと寝ていました。
生簀への移動	抱えられて渡る。
交流会	データなし
待ち時間	寝ていた。
ご飯	両親が対応した。

